

***学力状況調査の結果,必要となった対策 図形や立体の知識の定着**

1 指導学年(教室) 小学校 3年 (普通教室)

2 指導教科 算数

3 単元 三角形のなかまを調べよう

4 本時の学習目標 (ねらい) 二等辺三角形の作図の仕方を理解し,作図することができる。

5 本時の評価規準 既習事項を使って二等辺三角形のかき方を考えている。(数学的な考え方)
コンパスを使って作図している。(技能)

6 ICT活用の目的・期待されるICT活用の学習効果

- ・実物投影機でノートにかいた図を拡大することで,わかりやすく伝えることができる。
- ・発表のために画用紙や黒板に書き直す時間を省き,児童が説明を考えたり,ノートに書いたりする時間を多くとることができる。同時に,机間巡視をしながら支援をする時間も増える。

7 ICTコンテンツ・機器

実物投影機,大型テレビ

8 指導過程(略案)

段階	主な学習活動(学習内容)	◇ 指導上の留意点, 支援 ■ 評価
導入	1 二等辺三角形の特徴を振り返る。 ・ 2つの辺の長さが同じ。	◇ 黒板に二等辺三角形(前時で掲示した図)を提示する。
展開	2 本時の学習課題を知る。 二等辺三角形のかきかたを考えよう	◇ これまでに習ったことを使ってかくことができることを伝える。
	3 掲示した二等辺三角形の辺の長さに着目する。	◇ 二つの辺の長さが等しいことに着目させ,作図のヒントにする。
	4 作図をする。 ・ 底辺アイからかく。 ・ 頂点ウをどのようにして決めたらよいかを考えて作図する。	◇ コンパスの使い方を確認し,正しく使えるようにする。 ■既習事項を使って,二等辺三角形の作図の仕方を考えている(ノート, 発言)
	5 話し合う。 ・ 実物投影機を使って図を拡大し,作図のしかたを発表する ・ 底辺を先にかくわけや,コンパスで円の一部をかくわけを考える。	◇ 児童の発表を聞きながら,黒板に,かき方をまとめていく。辺,頂点という言葉を使うように導いていく。
まとめ	6 コンパスを使った二等辺三角形のかき方をまとめる。	◇ 用語を穴あきにしたプリントを作成し,そこに書き込ませながらまとめる。
	7 作図する。	◇ 黒板で提示しながら順序を確かめて作図させていく。 ■コンパスを正しく使って作図している。(ノート)

9 成果と課題

- ・作図方法を考える時間を多くとったことで, ノートに書く時間がとれた。記述する子が増えた。
- ・次の正三角形のかき方の学習では, まとめのプリントを使わなくても,説明を考えられる子がでてきた。
- ・コンパスの操作方法について,実演に加えて視覚に残るものがあるとよかった。